

【「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書】

(モデル校名：広島県立賀茂北高等学校)

○ 学校の概要 (平成15年4月現在)

| 広島県立賀茂北高等学校 |    |    |    |     |     |
|-------------|----|----|----|-----|-----|
|             | 1年 | 2年 | 3年 | 計   | 教員数 |
| 学級数         | 2  | 2  | 2  | 6   | 23  |
| 生徒数         | 83 | 73 | 62 | 218 |     |

1 本年度当初、本校が抱えていた課題

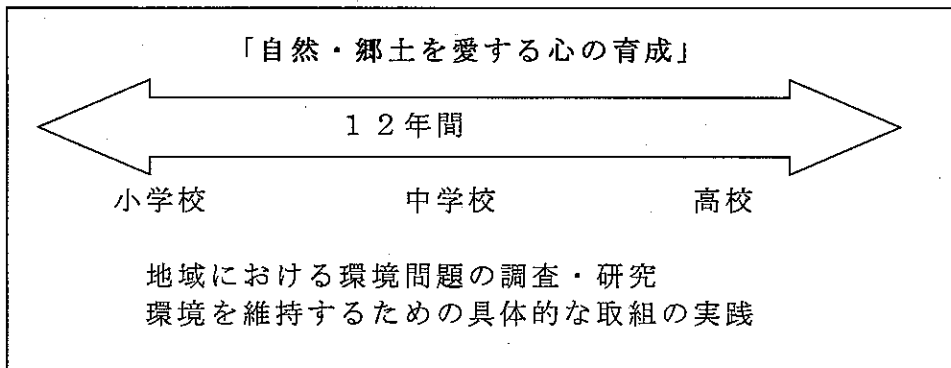
これまでの「総合的な学習の時間」の指導内容は、「産業社会と人間」を踏襲し、キャリアエデュケーション的な観点から3年間の指導計画を作成してきた。また、ボランティア活動や環境美化活動などは、週時程(時間割)の中には組み込まず、放課後に実施してきた。しかし、中学校では、「総合的な学習の時間」の一環として取り組んでおり、中高が合同で生徒全員で実施するのは不可能であった。モデル地域として、地域全体で「総合的な学習の時間」に取り組むためには、本校の「総合的な学習の時間」の指導内容に、新たにボランティア活動や環境問題等を組み込む必要があった。

2 目標設定について

小中高12年間を通して、「総合的な学習の時間」のねらいである、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力の育成すること」、「学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにすること」、以上の2点を目標とした。

3 成果

- (1) 「EM菌を活用し、生ゴミを資源化する取組みを小中高で実施する」という合意形成ができた(2月25日から各校ですでに取組みを開始した。)
- (2) 豊栄町保小中高一貫教育推進会議が開催され、「自然・郷土を愛する心の育成」を共通テーマとして各所・学校で推進することを決定した。



4 平成16年度 of 取組み

- (1) 町のITセンター構想に基づいた、光ケーブルを活用した合同授業の研究  
広島大学中坪助教教授による環境学の合同講演会の実施
- (2) 中高合同による地域の環境整備活動の研究  
地域の児童公園等の遊具などの整備及び清掃活動
- (3) EM菌やミミズを用いた生活廃棄物減少への取組み  
肥料や有機土壌に生ゴミを変えていく取組み
- (4) 植物の栽培を通して育成する心の教育の研究  
エゴマ(荳胡麻)の栽培、福富町の「しゃくなげ館」との連携

## 学校教育目標

- 1 教職員の資質向上に努め、社会に対応した教育内容を創造し、生徒・保護者の進路希望や願いに応える教育を推進する。
- 2 文化の拠点として、地域の生涯学習を支え、地域の活性化に寄与するため、地域に開かれた教育を推進する。
- 3 私学時代からの建学精神を継承し、「小さな学校大きな夢」のキャッチフレーズのもと、地域から期待され信頼される学校として、夢と創意と個性に満ちた活力ある教育を推進する。



## LET'S (総合的な学習の時間)

### 指導目標

調べる学力＝目的（何を）＋方法（どのように）を自らの力で発見し、解決に取り組む力の育成

### Listen&Learn (1年)

【企業見学、キャンパス訪問】

- ・自らの進路決定に対して課題を明確にし、自ら学び、考える能力の育成。

外部講師の積極的な活用  
インターネットの活用  
T・Tによる指導

### Experience (2年)

【インターンシップ】

- ・場面に応じた適切な判断と対応ができる資質や能力の育成。
- ・自己のあり方や生き方について、主体的に考える能力の育成。

### Think&Study (3年)

【課題研究、進路研究】

- ・興味・関心を基軸に、課題を見つけ主体的に研究していく能力の育成。
- ・論理的な思考や発表するための創造力、コミュニケーション能力の育成。



### 教科学習との関連

- ・教科横断的なカリキュラム運営
- ・教科・科目選択の多様化
- ・小論文指導の充実
- ・LHRとの一体化 など

### 外部の教育力の活用

- ・関係小・中・高との連携
- ・大学・各種研究機関との連携
- ・事業所・地域との連携
- ・PTA活動の充実 など

## 平成16年度 総合的な学習の時間(案)

### A: 内容(3本の柱)

- ・ ふるさと探求
- ・ 進路探求
- ・ 分野別研究

### ふるさと探求学習

#### 1 ふるさと探求学習の目標

- ・ 身近にある史跡等の文化財に着目し、その背景・歴史などについて学ぶ中で、その価値を再確認する。
- ・ 地域の文化財を保全・継承するために、地域の学校としてできることを考え、それを実行することのできる積極性や実践力を養う。
- ・ 地域の学校として、地域に貢献できる活動を実践し、地域に根付いた学校づくりを推進するための素養を身につける。
- ・ 勤労奉仕活動によって得られるであろう充実感や達成感を味わうことによって、社会生活におけるさまざまな事象に対して、意欲的に関わる態度を育成する。

#### 2 具体的内容

##### (1) 文化財に関する学習(2年)

地域の史跡等の文化財について認識を深め、その文化財を保全・継承しようとする意識・姿勢・態度を涵養する。

##### (2) ボランティア実習(1年)

地域のニーズに応じていくことで、地域に対する理解を深め、地域との密着性を高める。

なお、この学習においてはフィールドワーク(実習)を前・中・後期の3期に分け、前期では学校周辺、中・後期では校外活動として実施する。

#### 3 担当職員

(1) 文化的財産に関する学習 ( ) ( ) ( )

(2) ボランティア活動 ( ) ( ) ( )

## 進路探求

### 1 目標

- ・生徒一人一人に基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。
- ・進路に対する意識を高め、将来の自己の在り方生き方を選択する能力や態度を育成し、自立を図る。
- ・自己の進路希望の実現に向けて必要とされる事項を確認し、その解決に向けて積極的に取り組む姿勢を養う。

### 2 内容

#### (1) インターンシップ (2年)

- ・今後社会に出て行く上で必要とされる基本的姿勢・マナー等を身に付け、好ましい勤労観・職業観を育てる。
- ・実際に勤労体験を行うことで、社会性・協調性を学び、卒業後の進路決定に関する意識の向上を図る。

#### (2) 進路学習

- ・卒業後の進路決定に関して必要な情報の収集作業を行うことにより、より主体的な進路選択につなげる。
- ・必要に応じて実際的な知識や技術に触れる(企業見学等)ことにより、高い職業意識を育む。

### 3 担当職員

インターンシップ ( ) ( ) ( )  
進路学習 ( ) ( ) ( )

## 分野別研究

### 1 目標

- ・能動的な学習活動によって、個々の生徒の情報収集能力や情報処理能力を高める。
- ・1つのテーマに継続して取り組み、探究活動を行うことによって、自身の興味・関心や適性などについて自己分析し、学習の目的や学習意欲へのフィードバックを図る。

## 2 内容

「課題研究」は、『地域史研究講座』『環境学講座』『生涯スポーツ講座』『国際理解講座』『進路研究講座』『情報基礎講座』『福祉基礎講座』の7講座を設け、希望に基づく調整を行い、このうち6講座程度開講するものとする。

各講座の目的等については次のとおりとする。

- ・「地域史研究講座」…地域の文化・歴史について学習を深め、地域に対するより一層の理解と愛着を深める。
- ・「環境学講座」…地域の生活環境に関する問題や課題に対して身近な視点から捉え、研究を進めていく。
- ・「生涯スポーツ講座」…日常における生活様式とスポーツとの関係について研究を進める。
- ・「国際理解講座」…国際化社会の到来に向けて、伝統文化および異文化の理解を深める。
- ・「進路研究講座」…教科・科目において学習してきた内容を応用・発展させ、進路選択の実現に向けて発展的学力を身に付ける。
- ・「情報基礎講座」…情報化社会の到来に向けて、情報処理技術を主体的に活用し、伝達する能力を身に付ける。
- ・「福祉基礎講座」…地域の高齢化を踏まえ、その実態・現状について調査・分析し、課題解決に向けての具体案を検討する。

## 3 担当職員

|            |         |
|------------|---------|
| 『地域史研究講座』  | ( ) ( ) |
| 『環境学講座』    | ( ) ( ) |
| 『生涯スポーツ講座』 | ( ) ( ) |
| 『国際理解講座』   | ( ) ( ) |
| 『進路研究講座』   | ( ) ( ) |
| 『情報基礎講座』   | ( ) ( ) |
| 『福祉基礎講座』   | ( ) ( ) |

## B：評価について

- ・各時間における学習に取り組む姿勢・意欲などを積極的に評価する。
- ・自己評価も取り入れ、自らの学習の在り方を振り返る材料とさせるよう取組みを進める。
- ・また、年度末には1年間の学習を振り返ってレポート作成を行い、学習成果の整理・定着をはかる。

平成16年度 総合的な学習の時間 (LET 'S 2年) [案]

| 月  | 日  | 曜 | 時数 | 2 学 年                    |  |                         |   |
|----|----|---|----|--------------------------|--|-------------------------|---|
|    |    |   |    | 進路探求                     | 具体内容   | ふるさと探求                  | 具体内容  |
| 4  | 14 | 水 | 1  | 「総合的な学習の時間」に関するオリエンテーション |  |                         |   |
|    |    |   |    | 年間活動計画の確認等               |  |                         |   |
|    | 21 | 水 | 2  |                          |  | テーマ別グループ編成・<br>テーマ確認    |   |
|    | 28 | 水 | 3  |                          |  | グループ討議【調】<br>(活動内容の検討)  | できるだけ学校に身近なもの(場所)を選択させる                         |
| 5  | 12 | 水 | 4  |                          |  | 現地調査【調】                 | グループごとに設定したテーマ、扱う題材に関して事前調査を実施する。               |
|    | 26 | 水 | 5  |                          |  | 現地調査まとめ【調】<br>(依頼状等作成)  | フィールドワークの具体的活動内容の決定を行なう(必要に応じて関係各所に立入依頼状等を作成する) |
| 6  | 2  | 水 | 6  | 進路学習①                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路決定までの大まかな流れの説明</li> <li>進路指導室、進路資料室の活用法に関するオリエンテーション</li> </ul> |                         |   |
|    | 9  | 水 | 7  |                          |  | フィールドワーク①【実】            | 設定した活動内容に沿って実習を行なう。                             |
|    | 16 | 水 | 8  |                          |  | フィールドワーク②【実】            | (例:清掃作業、聞き取り調査、文献調査等)                           |
|    | 23 | 水 | 9  | 進路講話【講】                  | 演題「社会人として必要なこと」(仮)<br>本校卒業生等を講師として招聘。  |                         |   |
|    | 30 | 水 | 10 |                          |  | フィールドワーク③【実】            | 設定した活動内容に沿って実習を行なう。                             |
| 7  | 7  | 水 | 11 |                          |  | フィールドワーク中間まとめ【調】        | 活動内容に関する一定のまとめと、必要に応じての調整・修正を行なう。               |
|    | 14 | 水 | 12 | 進路学習②                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップの趣旨説明等、大まかな内容の提示</li> <li>アンケートの実施</li> </ul>             |                         |   |
| 9  | 1  | 水 | 13 | 「社会人としての心構え」講演会【講】       | 社会人講師を招聘。  |                         |   |
|    | 8  | 水 | 14 |                          |  | フィールドワーク④【実】            | 設定した活動内容に沿って実習を行なう。                             |
|    | 15 | 水 | 15 |                          |  | フィールドワーク⑤【実】            | (例:清掃作業、聞き取り調査、文献調査等)                           |
|    | 22 | 水 | 16 |                          |  | フィールドワーク⑥【実】            |   |
|    | 29 | 水 | 17 |                          |  | フィールドワークまとめ【調】          | 実習・調査内容の集約・まとめを行なう。                             |
| 10 | 6  | 水 | 18 |                          |  | グループ討議【調】<br>(活動内容の整理)  | 調査内容に考察を加え、文書化(レポート化)する。                        |
|    | 13 | 水 | 19 |                          |  | グループ討議【調】<br>(活動内容のまとめ) |   |
|    | 27 | 水 | 20 |                          |  | グループ間意見交換会              | 文書化されたものを各グループ間でお互いに発表し、活動の成果を確認する。             |
| 11 | 10 | 水 | 21 | インターンシップに関するオリエンテーション    | インターンシップの意義、実施計画の詳細について確認する。   |                         |   |
|    | 17 | 水 | 22 | インターンシップ事前指導①            | 「知っておきたいビジネスマナー」の学習  |                         |   |
|    | 24 | 水 | 23 | 「ビジネスマナー講座」講演会【講】        | ビジネスマナーに関する講師招聘。   |                         |   |
| 12 | 1  | 水 | 24 | エントリーシート作成①              | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習先の最終決定</li> <li>自己紹介カードの作成</li> </ul>                           |                         |   |
|    | 15 | 水 | 25 | エントリーシート作成②              | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習先の調査</li> <li>自己紹介カードの作成</li> </ul>                             |                         |   |
|    | 22 | 水 | 26 | インターンシップ事前指導②            | 事前訪問に関する留意点について学習  |                         |   |
| 1  | 12 | 水 | 27 | インターンシップ事前指導③            | 「ビジネスマナーの基本」の学習  |                         |   |
|    | 19 | 水 | 28 | 実習先事前調査                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>事前訪問の結果のまとめ</li> <li>実習に向けての最終確認</li> </ul>                       |                         |   |
|    | 26 | 水 | 29 |                          |  | 「課題研究」合同発表会             | 3年「課題研究」の成果を聞き、次年度の自らの活動に生かす。                   |
| 2  | 2  | 水 | 30 | インターンシップ【実】              |  |                         |   |
|    | 9  | 水 | 31 | インターンシップ事後指導①            | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習の成果についてのまとめ</li> <li>実習先への礼状の作成</li> </ul>                      |                         |   |
|    | 16 | 水 | 32 | インターンシップ事後指導②            | 実習レポート(感想文)の作成   |                         |   |
|    | 23 | 水 | 33 |                          |  | グループ討議【調】<br>(次年度の課題)   | 今年度の活動内容を踏まえ、次年度(下級生)への引継ぎ事項を整理する。              |
| 3  | 2  | 水 | 34 | レポート作成①                  |  |                         |   |
|    | 16 | 水 | 35 | レポート作成②                  |  |                         |   |